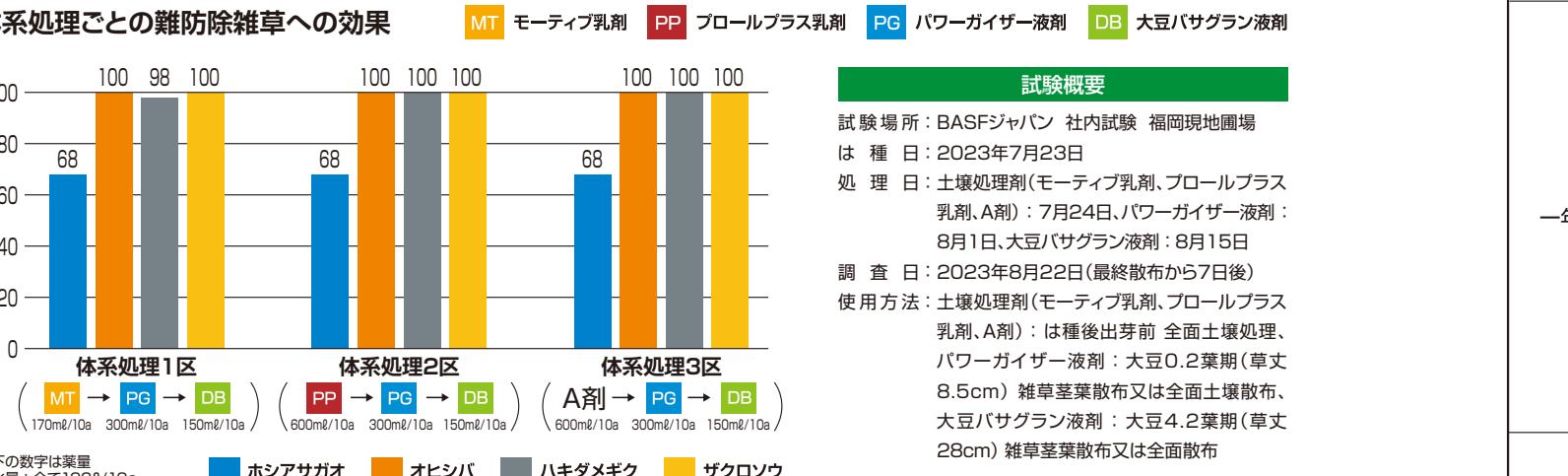


## 帰化アサガオ類の防除技術紹介

コストのかかる難防除雑草の除草。モーティブ乳剤の活用で低コスト化を実現しました!

モーティブ乳剤+パワーガイザー液剤+大豆バサグラン液剤(+バスタ液剤)による体系処理の有効事例



●各体系処理区(8月22日(最終散布7日後)撮影)



モーティブ乳剤→パワーガイザー液剤→大豆バサグラン液剤の体系処理をタイミングよく行うことで、  
ホシアサガオ防除の低コスト化に成功しました。

## パワーガイザー液剤を使って、中耕培土までの余裕を確保しましょう!

アメリカアサガオ マルバルコウ マメアサガオ ホシアサガオ

処理前



撮影場所：(公財)日本植物調節研究協会 研究所  
処理薬剤：パワーガイザー液剤 300ml/10a  
処理日：2018年7月23日  
撮影日：8月2日(処理後10日)

いずれのアサガオ種に対しても10日後まで強い抑制効果を示した。  
☑ アサガオ種を選ばず、強い抑制効果を発揮(だいすの選択性除草剤で唯一)  
☑ アサガオの生育が抑制されるため、余裕のある効果的な中耕培土につながる。  
☑ 続けて薬剤散布をする場合は、散布14日後を目安に。

パワーガイザー液剤は、異なるアサガオ種が混生する圃場でも安心して使用でき、  
次の管理まで余裕をもってつなぐことができます。  
また、土壤処理を失敗した場合のレスキューリーとしても活用することができます。

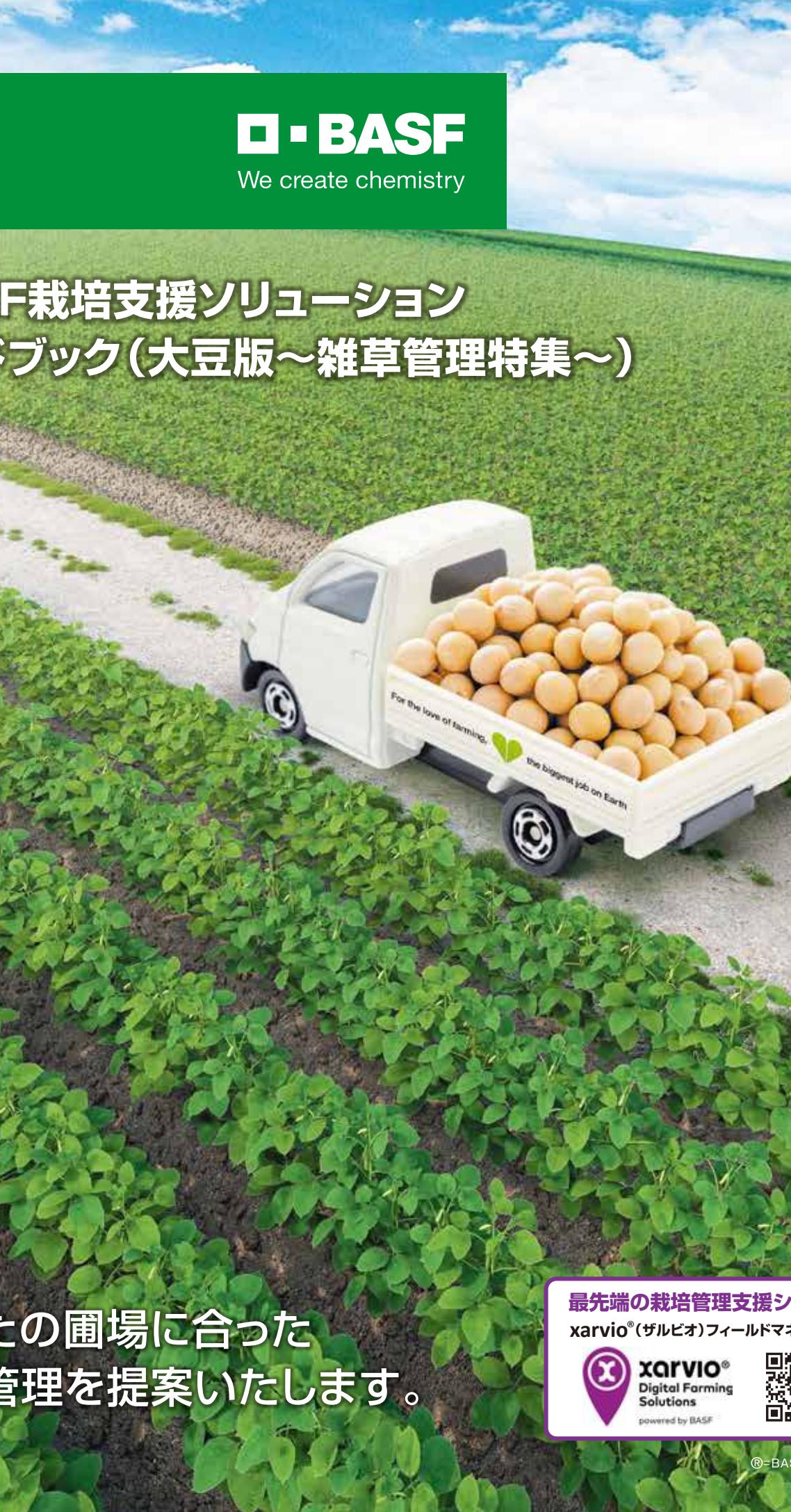
## 大豆除草剤 穀草スペクトラム

雑草名	モーティブ乳剤	パワーガイザー液剤	大豆バサグラン液剤	バスタ液剤
	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面散布(茎葉+土壤) 畦間処理	全面茎葉散布 畦間処理	全面茎葉散布 (は種前・出芽前) 畦間処理・株間処理
シロザ	○	○	△	○～○
コハコベ	○	○	○	○
タデ類	○	○	○	○
タニソバ	○	○	△	○～○
ノボロギク	○	○	○	○
イヌビュ	○	○	△	○～○
アオゲイトウ	○	○	△	○～○
ナズナ	○～○	○	○	○
スカシタコボウ	○～○	○	○	○
ツユクサ	○	○～△	△	○～△
スベリヒユ	○	△	○	○
イヌホオズキ	○	○	○～△	○～○
カヤツリグサ	○	○～△	○	○
イヌビエ	○	○	×	×
エノコログサ	○	○	×	×
メヒシバ	○	○	×	×
オヒシバ	○	○	×	○

◎：極大 ○：大 △：中 ×：なし

**BASF**  
We create chemistry

## BASF栽培支援ソリューション ガイドブック(大豆版～雑草管理特集～)



## パワーガイザー液剤を用いた体系処理の有効事例～アサガオ類以外の難防除雑草～

### やっかいなイヌホオズキをパワーガイザー液剤で防除



柳澤 兵庫さん(新潟県)

栽培作物：水稻、大豆

大豆の収量確保のポイントは、結局雑草対策だと思います。草がぼうぼうの圃場は、収量が期待できないのが分かってしまいます。私の圃場では、数年前からイヌホオズキに困っていました。収穫時のコンバインに混入や、手取り除草が必要で大変でしたね。でも、パワーガイザー液剤は、イヌホオズキの発生を大分抑えてくれて、大変助かりました。



### パワーガイザー液剤の導入で手取り除草の手間を削減



株式会社 西部開発農産 清水 一孝さん(岩手県)

栽培作物：水稻、大豆、小麦、そば

私たち西部開発では320haほどの面積で大豆を栽培しています。雑草管理にも細心の注意を払っていますが、天不順などで、予定通りに土壤処理剤を散布できなかった圃場では、ツユクサ、ワルナスビ、アレチウリといった雑草が問題化します。今年から大豆出芽後の雑草対策に、パワーガイザー液剤を取り入れました。問題雑草にも高い効果があり、おかげで手取り除草の手間をかなり削減することができました。



**最先端の栽培管理支援システム**  
xarvio®(ザルビオ)フィールドマネージャー

**xarvio®**  
Digital Farming Solutions  
powered by BASF

あなたの圃場に合った栽培管理を提案いたします。



xarvio®  
Digital Farming Solutions  
powered by BASF

## 大豆畑から雑草が消え、収量が80%アップ!



富田 裕司さん(栃木県・42歳)

栽培作物：水稻、大麦、大豆、そば

長年悩んでいた難防除雑草対策に成功!  
初めて使ったパワーガイザー液剤、  
ザルビオのタイミング通りに散布を行って、  
効果的に使用できました。

ザルビオの推奨時期に散布した結果、毎年悩んでいた雑草を効果的に防除でき、手取り作業も不要になりました。収穫時もコンバインに雑草が絡まることなく、スムーズに作業できました。さらに、収量が大幅に上昇し、除草剤のコストを21%削減、手間も大幅に削減。最終的には昨年比80%の増収を達成しました。

### ザルビオを活用した結果



### 公的機関でも有効性が確認されています!

日本雑草学会 第633回大会(2024年3月29日)

### xarvio®フィールドマネージャーの雑草管理プログラムを活用した ダイズの帰化アサガオ類防除\*

- 大豆の生育予測精度は実用可能な範囲である。
- 帰化アサガオ類を大幅に低減：対慣行区対比で平均14%減(1~96%)。
- 大豆子実収量が増加：対慣行区対比で平均70%増(90~166%)。
- 手取り除草を省力化：工数を87%削減(人件費5396円/10a減)

ザルビオの雑草管理プログラムに基づいた適期除草体系を導入することで、  
帰化アサガオ類の抑制に伴う手取り除草労力・コストの低減および大豆の収量効果が期待できます。

### ザルビオを活用した結果



\*農研機構・西日本農業研究センターが、兵庫県、山口県にかけて試験で帰化アサガオ発生圃場において有効性が確認されました。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVAL日本橋ビル3階  
TEL 0120-014-660 <https://crop-protection.bASF.co.jp/>

BASF-0858 1  
202504

©-BASF社の登録商標

# これからの大蔵栽培に貢献する BASFの農業ソリューション

“大豆作は雑草との闘い”と言われるほど重要な雑草防除。  
BASFはトータルソリューションで立ち向かいます。

雑草は大豆の養分収奪に伴う減収だけでなく、アサガオ等の難防除雑草が機械収穫を困難にするといった実害をもたらします。難防除雑草を含めた雑草の効果的な防除実現に向けて、BASFは農薬×デジタルのトータルソリューションを提供致します。

## 大豆栽培でのこんなお悩み

- 最適な薬剤が分からぬ
  - 散布時期の見定めが難しい
  - 多筆管理

## 最先端の栽培管理支援システム xarvio®(ザルビオ)フィールドマネージャーが これからの圃場管理をサポートします。



## ザルビオフィールドマネージャーの主なサポート機能

## 生育ステージ予測

付け日、品種、地域の天気(1キロ範囲)等の情報をAI解析し、圃場ごとの生育ステージを予測番号(BBCH)で予測。異常気象や温暖化等で圃場が難しくなっている生産者の判断をサポートします。

## 詩 長

単に始められる  
物の登録を行うだけで、作付日以降の生育ステージ  
自動で予測・表示します。

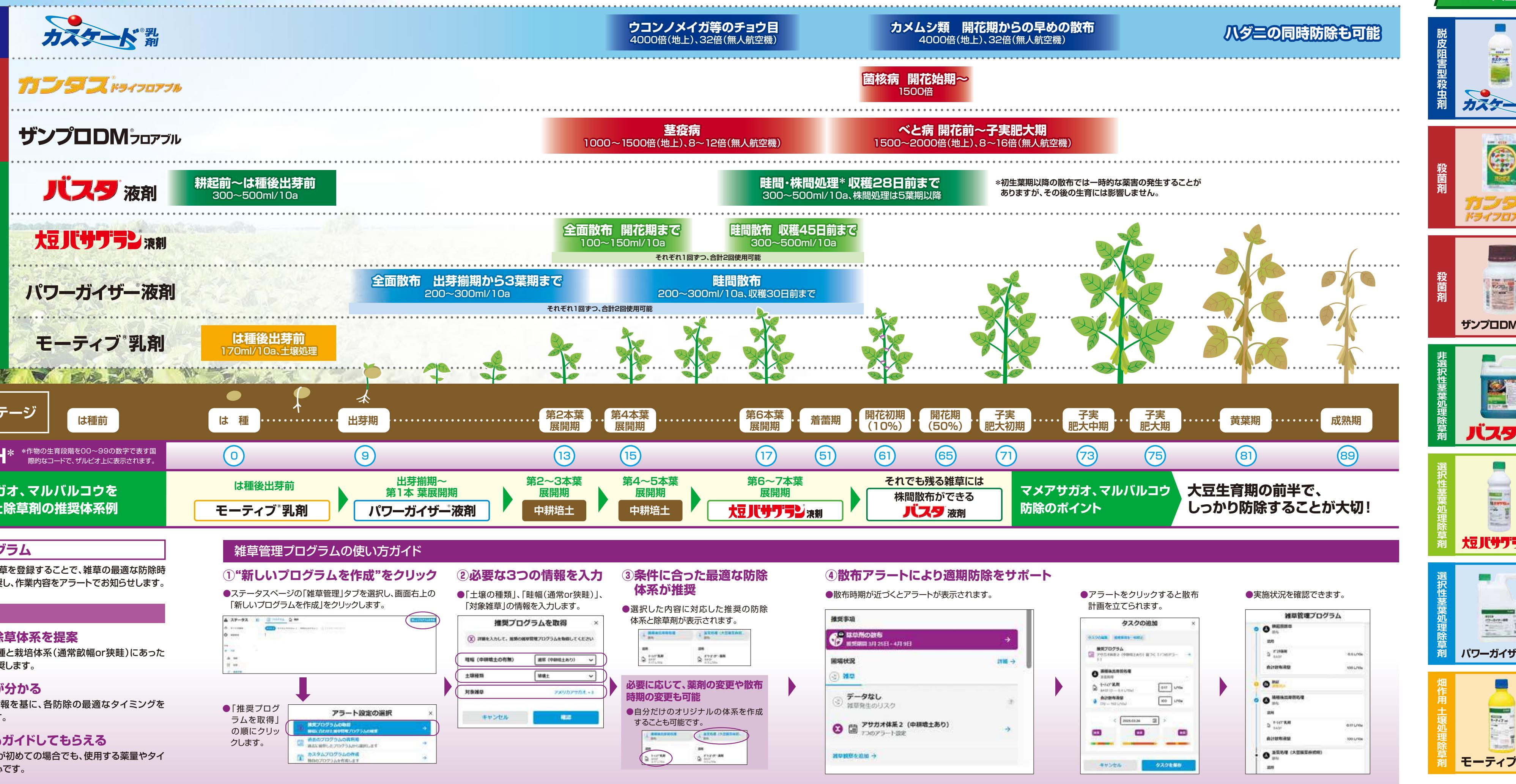
## が生育状況を予測

2日以内/8割が4日以内の精度で正しい生育スケジュールを予測(2021年時点検証時の精度)。

## 業の適期を判断できる

大切な作業タイミングの判断に役立ちます。また重要な生育ステージが近づくと、アプリに通知されます。

## 豆におけるBASF剤のおすすめ散布方法と散布時期



用ソリューションラインナップと適用病害虫・雑草と使用方法(だい)すのみ抜粋)

